

| 多文化共生事業事例集 | | 年度 R6 |
|--|---|--|
| 団体名 | 鹿児島県 | 助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業 事業総額 1,500千円 |
| 事業名 | 外国人材定着支援事業 | |
| 概要 | 県内各地で働く外国人材を対象に、外国人材が地域へ定着しやすい環境を整備するため、地域における交流や異文化理解のための取組を実施した。地域での取組においては、外国人材だけでなく、外国人材が居住する地域の住民や外国人材受入企業、市町村等と共同で実施し、地域で安心して働き、暮らせる環境を整備するとともに、実施した取組内容を県内市町村、企業等に共有し、県内各地における外国人材の地域定着を促進させることを目的とした。 | |
| 事業の背景 | 事業の詳細 | |
| 鹿児島県の外国人労働者数は令和6年10月末で14,240人と過去最高を記録したが、国内外で人材確保の競争が激化しており、定着促進が課題となっている。定着に向けた課題は2点あり、1つは「地域住民の意識」で、異文化理解の手段不足やコミュニケーションへの不安がある。もう1つは「地域での取組の運用」で、外国人の状況把握や交流・情報発信方法に課題がある。こうした課題に対応するためには、顔合わせなど関係者協議の場を設け、外国人材も地域の一員として意識されることが重要であり、地域行事への参加促進にもつながる。 | <p>県内で働く外国人材、外国人材受入企業、外国人材が居住する地域の住民、市町村を対象として、錦江町で実施。</p> <p>・スケジュール</p> <p>4-7月 ①ワークショップの実施（7月26日（金）） ②市町村ヒアリング ③モデル市町村の募集</p> <p>8月-9月 ④モデル市町村（錦江町）の決定 ⑤錦江町における関係者協議（顔合わせ等）</p> <p>9-12月 ⑥錦江町における地域定着のための取組及びアンケート調査の実施 2月 ⑦地域定着への取組報告会の実施（2月5日（水））</p> <p>・9月28日（土）錦江町馬場地区公民館主催「十五夜綱引き」 外国人材が地域イベントに参加し、地域住民と交流 地域の方、外国人の方への聞き取りを実施</p> <p>・11月10日（日）錦江町いきいき秋まつり 外国人材と地域住民との交流の促進 外国人材の出身国であるベトナム・カンボジア・インドネシアの紹介資料掲示・配布 飲食物（アジアの菓子、茶、コーヒー等）の提供 アンケートの実施</p> <p>・12月14日（土）錦江町立大根占小学校餅つき大会 外国人材と小学生、地域住民との交流を促進 外国人材の出身国の紹介資料掲示と、飲料（アジアの茶、コーヒー等）の提供 アンケートの実施</p> | |
| 事業の目的 | | |
| 地域との関わりが持てない外国人材が、地域へ定着しやすい環境を整備するため、県としては、外国人材との交流等に取り組む市町村の自治会や受入企業等が地域での取組を実施する機会を創出し支援する。 | | |
|  |  |  |
| 外国人材がごしま定着ワークショップ | 錦江町いきいき秋まつり | 大根占小学校餅つき大会 |

事業実施における工夫点・事業の成果等

| | |
|---|---|
| <p>R6.7.26外国人材かごしま定着ワークショップ33名(県内企業、市町村等)</p> <p>R6.9.28錦江町十五夜綱引き大会(馬場地区公民館主催)約100名(各自治会)、株式会社テリーファームの外国人材は9名(全員)</p> <p>R6.11.10錦江町いきいき秋祭り約80名</p> <p>R6.12.14大根占小学校餅つき大会約120名(小学生約100名、保護者ら約20名)</p> <p>R7.2.5かごしま外国人材地域定着への取組報告会23名(県内企業、市町村等)</p> | <p>県では、外国人材の施策に詳しい受託事業者とともに、県内の複数の市・町から外国人住民の状況、受入れ・定着にかかる取組、抱える課題等についてヒアリングを行い、その上で県内全市町村に外国人材の地域定着支援先として応募を募った結果、支援先を錦江町に決定し、支援企業を同町の農業法人に決定した。</p> <p>錦江町及び農業法人への伴走支援の実施に当たっては、関係者によるワークショップを開催して、受託事業者の他、すでに外国人材の地域定着のために各種施策に取り組むいちき串木野市及びさつま町公民会から取組事例を紹介してもらい、その内容を参考に、伴走支援を行った。さらに、外国人材と地域住民との交流の場の設定に当たっては、錦江町内の関係自治会、産業祭の実行委員会、地域の小学校等と連携しながら交流の取組を行った。</p> |
|---|---|

今後の課題・将来に向けての展望等

| | |
|--|---|
| <p>本事業では、モデル地域として錦江町を選定した。錦江町では、産業割合の多い農業をはじめ、介護、医療分野で就労する在留外国人人数が増加傾向にあり、錦江町としても町で働く外国人へのサポート施策を拡充してきた。</p> <p>そのため、錦江町では、特筆して外国人を受け入れることにおける課題や新たな取組に関しての必要性は感じていなかったが、本事業のヒアリングにより、地域住民が外国人と距離感を感じていることが確認された。このまま外国人に対しての理解やコミュニケーションが進まない状態が続くと、今後鹿児島県内にも外国人材が増加することが予想される中で町・事業所のサポートのみで増加する外国人材を地域で円滑に受入・定着を進めていくには限界があると考えられる。日本人住民と外国人が共生するために、地域住民の意識醸成の取組を進めないと、日本人コミュニティと外国人コミュニティの分断といった問題が将来的に起きる可能性がある。</p> | <p>また、外国人材向けのアンケートで、錦江町が外国人向けに実施している施策などを知っているかとの問いに、約3割が知らないという回答をしており、日本人及び外国人に対しての施策の浸透を踏まえていくことも今後の課題となっていく。</p> <p>本事業の最初に実施したワークショップでは外国人の参加がなく、県内に住む外国人が持つ課題というのを議論、共有できなかった。このため、来年度以降、同様のワークショップを開催する場合は外国人の参加者が望まれる。</p> <p>今後も、県内各地において、外国人材の地域定着への取組を実施することにより、地域で安心して働き、暮らせる環境の整備を促進してまいりたい。</p> |
|--|---|

事業担当者のふりかえり

- ・外国人材の地域定着のためには、地域での交流機会の創出が重要であると改めて感じたとともに、受入企業や地域住民、行政等、多様な組織・個人の協力や連携が必要であると感じました。
- ・また、取組を進めていく中で、県や市町村における課題も掘り起こすことができました。
- ・今後も、県内各地で外国人材の地域定着に向けた取組が実施されるよう、県内市町村や関係団体と連携しながら支援を行っていきたいです。